

能と狂言

鏡仙会

TESSENKAI

# 定期公演

能  
龍田たつた  
移神楽

清水 寛二

狂言  
菊の花きくのはな

野村 萬齋

能  
恋重荷こいのおもに

片山九郎右衛門

2024年9月13日(金)  
午後6時開演(午後5時30分開場)  
会場 観世能楽堂



# 鏡仙会定期公演〈9月〉

2024年9月13日(金) 午後6時開演

## 能 龍田

移神楽

前シテ  
後シテ

龍田神巫  
神巫

清水 寛二

ワキ

旅僧 御厨

誠吾

ワキツレ

従僧 則久

英志

アイ

里人 深田

博治

〃

〃 渡部

葵

〃

〃 八反田

智子

小鼓 林

吉兵衛

大鼓 大倉慶乃助

太鼓 林 雄一郎

地頭 西村 高夫

諸国を巡る旅僧が大和龍田川に出た。そこに現れた巫女は冬枯れの木立の中に一本だけ今を盛りと紅葉する御神木のもとへと僧を案内し、自分こそ神体の龍田姫神だと明かすと御殿のうちに消え失せてしまう。  
やがて龍田姫神が神々しい姿で現れると、龍田山の紅葉の美しさを愛で、夜神楽を奏して舞を舞う…。  
色鮮やかな紅葉を湛える御神木を象徴に、和歌や神代の世界を描いた情趣に富んだ能。



## 狂言 菊の花

シテ  
アド

太郎冠者 野村 萬齋  
主 高野 和憲

都見物に出た太郎冠者が菊の花を頭に挿して通りを歩いていると、その姿を見た美しい上臈が歌を詠んだ。それに対し、風流な返歌をしたため冠者は上臈に気に入られ、祇園の酒宴へと招かれるが…。

## 能 恋重荷

前シテ  
後シテ

山科莊司 片山九郎右衛門  
莊司ノ亡霊

ツレ 女御 北浪 貴裕  
ワキ 臣下 福王 和幸  
アイ 下人 野村 裕基  
籥 藤田 貴寛

小鼓 観世新九郎  
大鼓 原岡 一之  
太鼓 三島元太郎  
地頭 浅井 文義

菊守の老人、山科莊司が女御に対し、秘かな恋心を抱いていると聞いた白河院の臣下は莊司を呼び出す。この荷を持ち、庭を百度千度廻るならば女御が姿を見せるといふのだ。しかし莊司は重しの入ったその荷を遂に持ち上げることが出来ず、絶望のうちに女御を怨んで憤死してしまう。  
やがて莊司の亡霊が現れると、身分違いの叶わぬ恋心を弄ばれた恨みを述べ、女御を責め立てる…。

恋心を荷に例えて老人の恋の妄執を強烈に描いた能。

◎より詳しい解説を鏡仙会ホームページにて順次公開しております。  
ご観能前には是非ご覧下さい。  
※携帯電話等、音や光の出る機器の電源は予めお切り下さい。  
※無許可の写真撮影、録音、録画は固くお断り致します。  
※客席内での飲食はご遠慮下さい。

会場：観世能楽堂(全席指定)

〔交通〕銀座駅(A3出口)徒歩2分  
東銀座駅(A1出口)徒歩3分  
有楽町駅(銀座出口)徒歩10分  
〒104-0061  
東京都中央区銀座6-10-1  
GINZA SIX 地下3階  
TEL 03-6274-6579

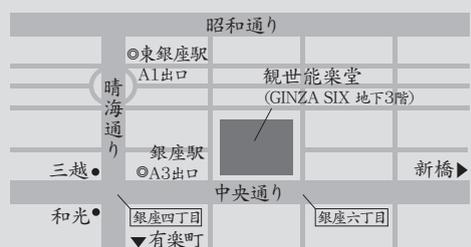
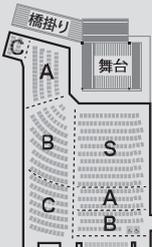
※併設の駐車場がございます。  
詳しくは、GINZA SIXのホームページにてご確認ください。

入場料：S 席 7,000円  
A 席 6,000円  
B 席 5,000円  
C 席 4,500円  
U 25歳以下 2,700円

賛助会員 年間指定席/年11回  
S 会員 175,000円  
A 会員 165,000円  
B 会員 154,000円  
C 会員 149,000円

※賛助会員制度は1月より1年間同じ席でご覧頂くというものが、随時入会も可能です。詳しくは鏡仙会までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ・お申し込み：鏡仙会  
電話 03-3401-2285(平日10~17時)  
ホームページ <http://www.tessen.org>  
予約受付開始：2024年5月13日(月) WEB 10時、電話 13時



10月11日(金) 午後6時開演 会場：観世能楽堂

狂言 文相撲  
松風  
相撲が得意という男の腕前を見るため大名は秘伝書を見ながら自ら相手して…  
かつて在原行平に愛された松風村雨姉妹は死してなお須磨で行平を待ち続ける。 観世鏡之丞

10月23日(水) 午後6時30分開演 会場：鏡仙会能楽研修所

狂言 太刀奪  
錦木  
奪われた太刀を取り返すための主従は男を捕えるが召使は怒々縄を縛り始め…  
三年間、女のもとに通い続けたが恋が実らず死んだ男の恨みと執心を描いた能。 野村 裕基 健吾

写真 表面 能「恋重荷」 観世鏡之丞 撮影・吉越立雄  
裏面 能「龍田」 観世鏡之丞 撮影・吉越立雄